

7月	議会活動日誌	1. 総務福祉常任委員会 9月19日(水) 午後 総務課・企画財政課・健康福祉課 9月20日(木) 午前 町民課・みた保育園 午後 教育課・産業振興課・環境整備課 9月21日(金) 午前 観光定住課・町長及び副町長 午後 まとめ 2. 産業建設常任委員会 9月19日(水) 午後 企画財政課・産業振興課・環境整備課 9月20日(木) 午前 観光定住課・総務課 午後 町民課・健康福祉課・みた保育園 9月21日(金) 午前 町長及び副町長・教育課 午後 まとめ
・島前防犯連合会総会 ・広報調査特別委員会 ・ごみ収集運搬業務委託審査会 ・国民健康保険運営協議会 ・例月出納検査 ・外浜安全祈願祭 ・コミュニティ図書館オープニング竣工イベント ・大相撲八角部屋隠岐合宿歓迎会 (隠岐の島町)		

9月	8月	7月
・産業建設常任委員会町外視察 (飯南町・邑南町) ・町議会運営委員会 ・隠岐広域連合議会定例会 (2日間・隠岐の島町) ・町議会全員協議会 ・交通安全対策会議 ・例月出納検査 ・島前町村組合議会定例会 ・島前高校魅力化の会 ・例月出納検査 ・町議会9月定例会(3日間) ・交通安全街頭指導・テント村 ・輝けイレブン(松江市)	・大山遊泳場安全祈願祭 ・みなとオアシス関係行事 ・町議会臨時会・全員協議会 ・西ノ島町成人式 ・例月出納検査 ・決算審査(7日間) ・定期監査 ・雇用拡充事業審査会 ・島根県土木部への要望活動 ・隠岐広域連合議会総務消防常任委員会視察(大阪市) ・隠岐広域連合議会全員協議会 (隠岐の島町)	・事業開発等審査委員会

【視察報告】

《産業建設常任委員会》

次のとおり町外視察を行いましたので、その概要をお知らせします。

■ 町外視察

9月3日(月)と4日(火)の2日間、先進地での取り組み等を視察しました。

1. 飯南町役場

「役場庁舎建設について」、「定住施策について」

2. 邑南町役場

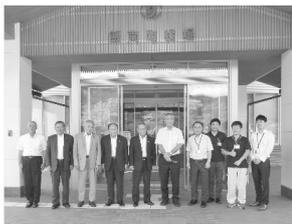
「人口減少対策のための各種施策について」、「
「にっぽんA級グルメのまち連合の発足について」、
「公共施設総合管理計画に係る取り組みについて」

3. 邑南町のイタリアンレストラン Ajikura

「A級(永久)グルメの取り組みについて」



▲飯南町役場(会議室)



▲飯南町役場(玄関前)



▲邑南町役場(会議室)



▲邑南町役場(議場)



観光スポットとしての図書館

平成30年7月21日（土）に開館した「西ノ島町コミュニティ図書館」通称「いかあ屋」は、9月末日までの来館者数が延べ1万人を超えました。7月、8月は目新しさと夏休みなどで大勢の来館が見込めても、9月になっても来館者数が2千人を超えるのは、一時の流行とは言えないのではないかと思います。

西ノ島町民が、他より特別に本好きだとは思えませんが、それでも「いかあ屋」には人が集っています。「書齋」や「いこいのへや」では、生徒が勉強道具を持ち込んで夏休みの宿題をしたり、スマートフォンでゲームをしたり、大人はパソコンを持参して仕事をしたり、読書もしたり。「こどものへや」では幼児がはしゃいで、隣部屋の海が見える「縁側カフェ」では、コーヒーを飲みながらお母さんグループや若者達が談笑しています。

ウィークデーの真ただ中でも若者達がチラホラ見え、「縁側カフェ」で聞えてくる話によると、彼等は観光客でした。海士町の民宿に泊まっていたらしく、そこで同宿していた人に「西ノ島に行ったら、国賀海岸だけでなく、浦郷にある新しい図書館に行けば絶対に楽しめる」ということで来たらしいのです。我々にとって既に当たり前になりつつあるコミュニティ図書館は他と違って、裸足での入館、海の見える閲覧室とカフェ、Wi-Fiフリー、夜7時までの開館などの特色があります。これは図書館の特色というより、「コミュニティ部分」の特色といえるかも知れませんが、そういう空間の背後に情報がつまっている「図書」があるというのがミソだと思います。本を読まなくても気軽に足を運べる場所としての「いかあ屋」の魅力は、観光客が発見してくれたのかも知れません。



発見！ 西ノ島の自然の魅力 Vol.33 『路上のフクロウ』

今回も渡り鳥のお話です。一昨年の今頃、星空を観察しようと赤尾展望所に家族で出かけたところ、車道を岩の固まりのような物体が道をふさいでいます。よく見るとなんと「トラフズク」というフクロウの仲間でした。トラフズクは日本では年中生息するとされていますが、隠岐では主に秋から冬にかけて訪れているようです。

この時期、島民の方からも夜の路上に大きな鳥がいた!と何度か連絡を受けたことから、もっと多くのトラフズクが西ノ島に来ている可能性があります。

夜、赤尾や国賀に行かれる方は注意して探してみてくださいね。



▲赤尾に現れたトラフズク
(平成28年10月30日)

文・写真：江崎 逸郎（元西ノ島町観光協会職員 北海道苫小牧市在住）